

地元の村で、近隣の村からやってきた 農民にリンゴ栽培を指導するアリさん

獅子舞の練習に参加するアリさん (左から2人目)とシャフーさん。町役 場の呼び掛けで、2人が家族に電話 するときに使うテレホンカードが10万 円分も寄せられた



力会の会長をしている。「ムルフン語教室などを運営する飯島町国際協国人住民の生活相談や日本語・外国販島町には、製造業で働く外国人

ムルフン村の小学校 訪れた橋場さん

大使館(当時)の近藤陽子さんは、相談を受けていた在パキスタン日本民の収入が激減したムルフン村から

まで主に観光業で現金を得ていた農

メリカ同時多発テロを境に、

人と人との縁だっ

·カ同時多発テロを境に、それべと人との縁だった。9・11の1。この2つの地域を結んだの

るくカ

さんにそのことを話した。

友人である飯島町在住の橋場みどり

見直すきっかけに支援活動がふるさとを

にある35の村すべてに広めて 町で習得した技術をゴジャ るさとに戻った3人は、05年夏、1年間の研修 05年夏、 研修を終えて 早速、

きっかけに若い人たちがリ

てプロジェクトがスター

交流行事に参加することで、

0

人々が地元の良さを見直して

がるいの

実"をもたらしているようだ。

ア

ij

この協力は、飯島町にも大きな,果

さんたちが小・中学校を訪問したり

いを受け、国際協力会が主体となっも飯島町に足を運んだ近藤さんの願

ぜひ協力してもらえないか」。 が低い。果樹栽培が盛んな飯島町に、 ないため、その実は小さく商品価値 村にもリンゴはあるが、手入れをし

何度

胸を張る。 から は、「現地では『なったものを採る』にムルフン村を訪ねた佐々木さん 期待を寄せる。来年はプロジェクト 市場と価格の交渉をしています」と でしたが、 買人の言い値で売るしかありません 拓にも取り組んでいる。 ムルフン村に派遣する予定だ。 の総仕上げとして、 やり方を工夫していってほしい」と の佐々木登さんに指導を受けたアム ことによって4 栽培方法の改善に加え、 してくれました」(シャフ あとは彼ら自身で地元に合っ それを見て手入れの大切さを理 『ならせて採る』に変わってき ド・アリさんは、 3年前、 今では組合を作り、 町から専門家を 北原さんととも 入れをする 「以前は仲 販路の開 ンゴ農家 (しさん)。 直接 かな た

草の根技術協力事業 地域提案型 募集中!

ためにリンゴの木を切る農家を

草の根技術協力事業は、日本の NGO、大学、地方自治体、公益 法人などの団体が、これまでに培 ってきた経験や技術を生かして行 う国際協力をJICAが支援し、共 同で実施する事業です。現在、地 方自治体(自治体とNGO、大学 などとの共同事業も可)を対象と した「地域提案型」の事業を募集 中。締切は9月30日(水)まで。

詳しくは

草の根 JICA で 検索

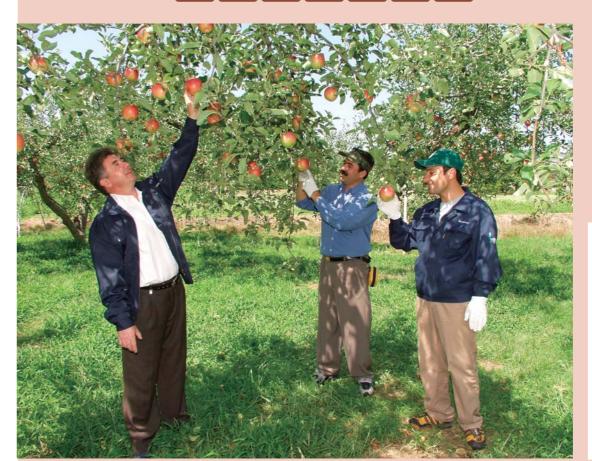
摘果を指導する北原さんとシャフーさん。 「研修が終わっても私たちの縁は終わり じゃないのよ。今度は子どもたちを連れて 来てね、と言っているんです」(北原さん)

多文化共生の意識が根付いてほし発されています。これによって町に発されています。 プロジェク と語る。 人々のきずなはこれからも続 いう気持ちでアリさ んを受け入れまし は来年で終了

室長の宮沢卓美さ

リンゴ栽培でパキスタンの村おこし

[長野県]



飯島町に実ったリンゴを確かめるアリさん、カリムさん(ムルフン村の村長)、シャフーさん(左から)。 町の農家で指導を受けたほか、青森の農園や都内の青果市場なども訪れた

た最初のプロジェクトは、ムルフン として2004~05年まで実施され る。JICAの草の根技術協力事業

を通じた村おこしを支援して

キスタン北部ゴジャ

リンゴの品質向か郡倒し

ここ長野県上伊那郡飯島町では

ハーン(愛称シャフー)さんだ。

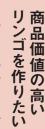
村から選ばれた農民3人を1年間受

·マンでリンゴの栽培方法を町の3軒の農家がそれぞれ

指導した。

せない。 を摘み取るこれらの技術は、大きく を、5月から7月には摘花と摘果ら2月にかけては剪定と害虫防 を落としてね」。まるで息子に語り 来年実らせる枝だから、こうして実 て質の良いリンゴを作るために欠か おさらいをした。花やまだ小さな実 る今年は、以前ここで研修を受けた かけるような北原さんの言葉を、 プロジェクトの第2ステージであ ちゃん、これ の除 か

リンゴを作りたい商品価値の高い



からやってきたシャラファット 農家の北原かづ子さんとパキスタン ばれるこの作業を行うのは、 ンゴが

長野県

飯島町

長野県上伊那郡飯島町

面積86.94平方キロ、人口約 10,600人。江戸時代には幕府の

陣屋が置かれ、信濃の国の政治

上、重要な役割を果たした。自然豊

かな飯島町のキャッチフレーズは 「二つのアルプスの見える町」。リン

ゴやナシをはじめとした果樹のほか、 花やきのこの栽培が盛ん。精密・電 子関連の企業も多く、外国人住民 の割合は5%を超える。2004年から

は、飯島町における初の途上国支 援として、パキスタン北部ゴジャール

地方のムルフン村に対し、リンゴ栽

培を通じた村おこしの協力をしてい

August 2009 JICA's World 22